長崎北徳洲会病院 広報誌

かたらんね

新任の佐野先生インタビュー
「手洗い・うがいを励行し、冬本番でも水分補給を」

第11回病院祭
前年を上回る800人以上が参集

リフレッシュ研修で他部署と交流

Q&A インフルエンザの予防接種

近くで見つけた洒落たお店、美味しいお店
第5回 お酒とお米の西岡屋の巻

地域貢献と全国大会優勝を目指す
長崎北徳洲会病院ソフトボール部

◎リフレッシュ研修の舞台となった伊王島の風景

創刊50号 2016 ANNIVERSARY

ご自由にお取りください

健康講座のご案内

長崎北徳洲会病院では、患者さまをはじめ、地域の皆さまを対象に、定期的に院の内外で「健康講座」を開催しています。健康な毎日をお過ごしいただくために、ご関心のある方は、どうぞお気軽にご参加ください。

介護福祉士の役割
担当:2階病棟　介護福祉士
とき 2月5日(金)16:00～　場所 4階患者食堂

血圧と塩分の関係
担当:外来・手術室　看護師
とき 2月19日(金)16:00～　場所 4階患者食堂

脳の活性化と筋力体操
担当:通所リハビリ　理学療法士
とき 3月4日(金)16:00～　場所 4階患者食堂

限度額適用認定証と高額療養費制度
担当:医事課　事務職員
とき 3月18日(金)16:00～　場所 4階患者食堂

※内容は変更になる場合があります。あらかじめご了承ください。

外来予定表

	科目	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
午前診 9時～12時	総合外来	佐野	竹ノ下	佐野	佐野	島本	
	内科	中川	中川	松本	竹ノ下	中川	当番医師
	心療内科	立石	立石	立石	立石	立石	立石
	外科	門原	門原		門原	門原	当番医師
	脳神経外科	中村	鬼塚		鬼塚	中村	
	整形外科	堀内	堀内	堀内	堀内	堀内	
	形成外科			矢野			
	内視鏡(検査)	門原	門原	当番医師(★)	門原	中里 門原(第4週)	中里(第4週)
夕診 17時～20時	内科系	中尾 立石	福田	島本 松本(第4週)	竹ノ下	中川	
	外科系	中村	堀内	門原	鬼塚	堀内	

※医師の都合により、変更になる場合がありますので、あらかじめご了承下さい。
※水曜日の内視鏡は、福岡徳洲会病院消化器内科からの当番医師(★)となります。
※土曜日は午前診のみとなっております。ただし、急患の方はいつでも受付けいたします。

医療法人 徳洲会の理念　◎生命を安心して預けられる病院　◎健康と生活を守る病院

編集後記

今年の冬は暖かいですね。そのためか、風邪やインフルエンザの患者さんがまだ多くありません。しかし、油断大敵。これから、寒くなるかもしれませんから、この先も気を緩めず、予防を心がけていきましょう。

編集委員一同

医療法人 徳洲会
長崎北徳洲会病院 広報誌 かたらんね 2016・50号 平成28年2月1日発行

企画・発行／医療法人 徳洲会 長崎北徳洲会病院
長崎市滑石1丁目12番5号 TEL.095-857-3000(代) FAX.095-856-3079

ACCESS 長崎バス 横道バス停下車、徒歩1分　JR JR道ノ尾駅下車、徒歩10分

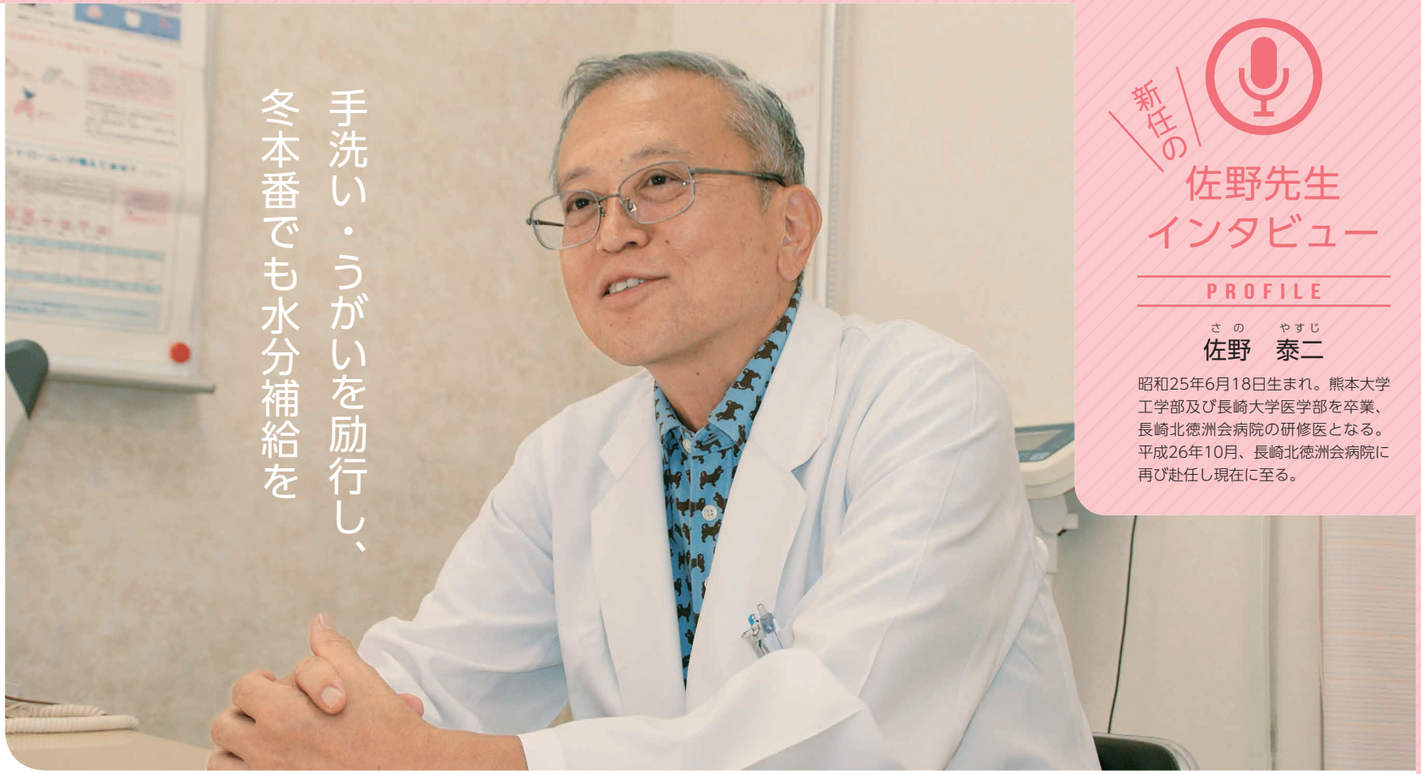
年中無休 24時間救急対応

新任の
佐野先生インタビュー

PROFILE

佐野（さの）　泰二（やすじ）

昭和25年6月18日生まれ。熊本大学工学部及び長崎大学医学部を卒業、長崎北徳洲会病院の研修医となる。平成26年10月、長崎北徳洲会病院に再び赴任し現在に至る。



手洗い・うがいを励行し、冬本番でも水分補給を

大学で土木工学を専攻し、青函トンネルの調査にも従事した異色の内科医、佐野泰二先生に医師を志したきっかけなどを聞きました。長崎北徳洲会病院とも浅からぬご縁があるようです。

独立したい思い抱き29歳で長大医学部へ

――医師を志したきっかけを教えてください。

子供のころは、船にのりたい、飛行機にのりたいという一般的な夢を持っていました。しかし、視力がよくなかったので、いずれも断念し、22歳で熊本大学の土木工学科を卒業して、コンサルタント会社に入りました。資格は、一級土木施工管理技士、測量士などを持っています。青函トンネルの調査にも従事しました。しかし、将来的に独立したいと思い、医者の道を選びました。大学にはすぐ合格すると思っていましたが、4年もかかり、29歳の時に長崎大学の医学部に入りました。

23歳で結婚していたので、卒業時は子供が男の子3人おり、2歳の子を抱いて卒業証書をもらいました。そのあと4男を授かりました。

――当院には以前、研修医として来られていたと聞きましたが、当時と現在の印象を聞かせてください。

徳洲会が出来る年に、縁あってここに研修医として入職しました。4年いましたが、その後、保険会社や他の病院に勤め、開業医などをしていました。徳洲会にいる職員とは昔からずっと交流があり、病院も長与に新築移転するからと誘われて、1年前に赴任しました。新病院はなかなか出来ませんが…（笑）

規則正しい生活習慣と腹八分目の食事が大切

――当院に赴任しての印象を教えてください。

小規模な病院ですが、それぞれの先生の特徴や強味を生かして診療している印象があります。

――現在、内科・訪問診療科を診察されていますが、冬本番に向けて、気をつけなければならないことはありますか？

インフルエンザなどが流行する時期です。手洗い・うがいはもちろんのこと、意外に思われるかもしれませんが、水分補給をこまめに、しっかりとおこなってください。

あとは規則正しい生活、腹八分目が大事です。生活習慣病は本人がその気になって規則正しい生活に気を付ければ、極端ですが医者はいらないと思っています。

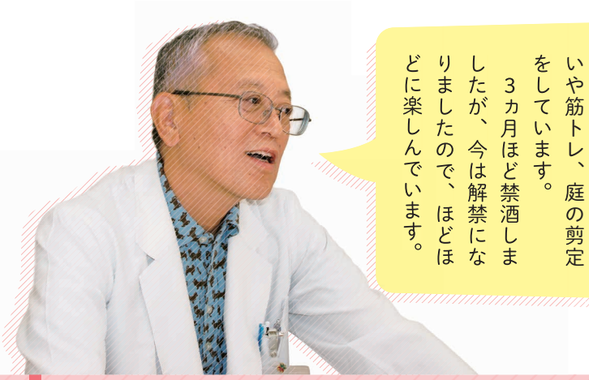
――医師になってこれまでで最も印象に残っていることを教えてください。

当院での研修医時代、新聞に載るような大きな事故などの患者さんは、ほぼここに運ばれてきていました。

今のような研修医制度はなく、基礎は見て覚えるものだと教えられ、いろんな経験をさせてもらいました。医者になってすぐでしたので新鮮で感激がありました。

状態の悪い20代の人が大量の輸血が必要となり、医師3人がかりで処置をし、あくる日、けろっと歩いていたのは今でも印象に残っています。

――休日の過ごし方や趣味・特技を教えてください。



趣味は山歩きです。九重がメインですが、鹿児島や宮崎に行くこともあります。休みの日は妻の買い物の手伝いや筋トレ、庭の剪定をしています。

3ヵ月ほど禁酒しましたが、今は解禁になりましたので、ほどほどに楽しんでいます。

第11回病院祭　協賛団体・個人

有限会社ケン・ユーフーズ　有限会社岩尾石材　有限会社喜福堂　ダイワシロアリ　株式会社メモリード　お酒とお米の西岡屋　ルークプラザホテル　株式会社大悠　ペプシコーラ長崎販売株式会社　有限会社宏栄クリーンサービス　一般財団法人九州電気保安協会　株式会社イシマル　株式会社山徳商会　有限会社松本青果　福岡酸素株式会社長崎支社　コカ・コーラウエスト株式会社　ニクヨシ株式会社　ピクトリア・イン長崎　長崎うまか麺株式会社白雪食品　株式会社長崎新生活センター法倫會館　有限会社住吉タクシー　九州印刷株式会社　株式会社シー・アール・シー　有限会社ワコー紙業　エネルギー資源株式会社　株式会社アペックス西日本長崎営業所　曙産業株式会社　株式会社クリーンマット　諫早牛乳販売株式会社　株式会社森美工務店　株式会社日本医療環境サービス　有限会社長崎衛生管理センター　株式会社テクノスズタ　チョーコー醤油株式会社長崎支社　かまぼこ長崎一番　トップアート紙工印刷有限会社　パナ電おおつ　株式会社アルス　浜本石油株式会社　有限会社フジケン　割烹大判　株式会社ラッキーモーターサービス　株式会社福祉の杜　有限会社長崎本舗　濱電設　株式会社司コーポレーション　上五島建設有限会社　さくら空調トータルサービス　有限会社お酒の木屋　株式会社小山商店　有限会社三瀬商店　海鮮市場長崎港出島ワーフ店　長崎菓房販売有限会社　株式会社永池　西九リネン株式会社　ワタキューセイモア株式会社九州支社　株式会社前田紙店　有限会社お茶の秋月園　NCC長崎文化放送株式会社　荒木建設　協和商工株式会社　株式会社長崎かなえ　長崎遊覧バス株式会社　長崎ヤクルト株式会社　日本光電九州株式会社　松尾建設株式会社　V・ファーレン長崎（ヴィファーレン）　いちごの家　※順不同

ひょっとこ

ご来場いただきました皆様に御礼申し上げます。また、協賛していただきました各企業の皆様、誠にありがとうございました。

次回も、皆様に楽しんでいただけるようなイベントを企画していきますので、スタッフ一同、ご来場をお待ちしております。

病院祭実行委員一同

前年を上回る800人以上が参集

長崎北徳洲会病院恒例「病院祭」

昨年10月18日（日）、すがすがしい秋晴れのもと、長崎北徳洲会病院第11回病院祭を開催しました。

開催時刻は10時でしたが、2時間前から長蛇の列ができ、今か今かと開幕を待っているほどの盛況ぶり。なんと、昨年の来場者数を上回る800人を超える人々が会場を埋め尽くしました。

踊りが会場の笑いを誘う♪

来場者のお目当ては、つきたてのお餅とフリーマーケット

毎年、つきたてのお餅は、好評のため終了時刻前には完売となっており、今年も1200個（昨年よりも200個多く用意しました）が、すぐに完売しました。

このほか、カレー、うどん、フランクフルト、唐揚げなど、たくさんの出店が並びました。

また、綿菓子やデザートのプリンなどは子どもたちに人気です。

今年の演し物は、有志による恒例の「ひょっとこ踊り」。中には、子どもも参加していて、その踊りや面白いお面で、その場の雰囲気を盛り上げ、会場の人々の笑いを誘っていました。

最後を締めくくったのは、みなさんお待ちかねの福引抽選会！　100個以上の景品があるため、毎年の大目玉となっています。

毎年、抽選結果を固唾を呑んで待ち望む来場者の熱い視線を感じながら、委員が抽選をします。番号が発表されるたびに歓声が起こり、会場は大盛り上がり。無事、病院祭を終えることができました。

院長の挨拶で病院祭スタート！

リフレッシュ研修で他部署と交流

課題達成のために何が大切かを体感

12月8日、やすらぎ伊王島を会場に、新しく仲間入りした新入職員や中途入職の職員を対象にしたリフレッシュ研修を実施しました。この日、晴天に恵まれましたが、参加者は普段の業務とは違う研修に、「期待」と「ちょっとした不安」を持ちながら臨んだようです。

今回は10名の新人と、その先輩であり指導者でもある7名が参加しました。

最初の研修は、坂本看護部長によるもので「課題を達成するチームの中で、メンバー相互のコミュニケーション、協力の過程を学ぶ・体験を通じて、チームによる効果的な問題解決のあり方を学ぶ」を研修目的とし、新人と指導者が入り混じった3つのチームで研修に臨みました。

様々な情報を収集して一つの答えを導くという、一見すると単純な内容ですが、これが思いのほか難しく、情報が多岐にわたるため、これをまとめるのが困難です。情報の中には意味をなさないものや、裏をかいたものがあるなど、チームを翻弄します。

チームの中には初顔合わせのメンバーもいましたが、お互いに意見を言い合うことができていたようです。最終的には3チームともほぼ同じような結果となり、無事に目的を達成することができました。

午後からは、くじでペアを決めて卓球大会を開催。トーナメント戦で順位を競います。即席でできたペアであるにもかかわらず、それぞれがうまくコミュニケーションを取り合い、白熱した試合を楽しむことができました。

試合後はそれぞれ温泉に入浴したり、足湯を楽しんだり、買い物をしたりなどして自由な時間を過ごし、心身ともにリフレッシュが図れたようでした。

グループワークを通して、それぞれが目的を理解し、課題を達成するために何が大切かを実感できたのではないでしょうか。そして部署間を越えたコミュニケーション。この経験を生かして、これからも頑張っていきましょう！

参加者の感想

普段仕事をしていると気づかないこと、伝えることの難しさと大切さ、人の意見を聞きながら、自分の意志も共有できるようにならないといけないと気付きました。

自分の部署内での役割を理解し仕事を行い、他部署との連携を行う上で、相手の気持ちや考えを理解することの大事さを学んだので、それをできるようにしたい。

自分にどういった点が足りていないのかがわかる良い研修となりました。情報収集の大切さや他職種のスタッフと交流することもでき、非常に有意義な時間となりました。

参加した新人

●薬剤科　薬剤師
中村（なかむら） 頌太郎（しょうたろう）

●放射線科　放射線技師
松永（まつなが） 大地（だいち）

●リハビリテーション科
理学療法士
塚田（つかだ） 芹奈（せりな）
日下部（くさかべ） 真由（まゆ）
馬場（ばば） 皓平（こうへい）

●看護部　3階病棟
松野（まつの） 岬（みさき）

●看護部　4階病棟
竹中（たけなか） 千尋（ちひろ）
前田（まえだ） 翔直（しょうま）
野田（のだ） 志穂（しほ）
木津（きづ） 亜理紗（ありさ）

疑問を解決!

Q&A インフルエンザの予防接種

Question 1
インフルエンザ予防接種ワクチンが値上がりしたと聞きましたが、なぜですか？

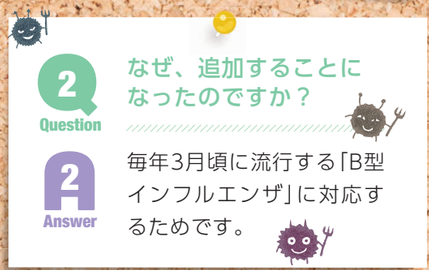
Answer 1

これまでのインフルエンザ予防接種ワクチンは流行を予想して3種類のウイルスに対応していました。今回からこのワクチンにもう1種追加し、4種類となったため、値上がりしています。

Question 2
なぜ、追加することになったのですか？

Answer 2

毎年3月頃に流行する「B型インフルエンザ」に対応するためです。



Question 3
料金はいくらになるのでしょうか？

Answer 3

長崎北徳洲会病院の場合、昨年は一般の人で3,600円でしたが、今年は3,800円となります。高齢者の方などは補助があるため、料金が変わりますので、詳しくは受付でお問い合わせください。

Question 4
いつ、接種したら良いですか？

Answer 4

ワクチン接種後、1～2週間かけて抗体が作られますので、接種は早めが良いと思われます。今年はインフルエンザの流行が例年より遅れているようですので、今からでも対策を始めましょう。

Question 5
マスクや手洗いで予防できませんか？

Answer 5

インフルエンザウイルスは粒子が小さく、マスクの隙間を潜り抜けてしまいますので、完全な防御策とは言えません。手洗いはウイルスを洗い流すので有効的ですが、十分な手洗いが必要となります。

第28回

技能グランプリに県代表で出場

長崎北徳洲会病院の調理師
竹山由規さん

長崎北徳洲会病院栄養科の調理師、竹山由規さんが、第28回技能グランプリ（昨年2月20日から23日開催）に出場しました。

この技能グランプリは2年に一度開催され、熟練技能者が技能の日本一を競い合う全国規模の大会。竹山さんは長崎県より推薦され、県の代表として「日本料理部門」に出場しました。

競技は課題が4つ。ヒラメの薄作り、煮物椀、酢肴、応用料理（残った材料を使い自由に作り上げる）を調理し、その技術の高さを競い合います。大会には名の知れた調理人も出場していて緊張した、と語る竹山さん。思うように実力が発揮できず、悔しい思いをしたということでした

が、今後も様々な大会に出場し、技術だけでなく精神面も磨き上げ、再度、この技能グランプリに出場した折には入賞を目指す、と意気込みを語りました。

竹山さんに抱負を聞くと「基本や基礎を大切にすることはもちろんですが、日本料理界の持つ古い考えを変えていきたい。そして、病院の患者さんには、手間暇をかけた、見た目も美しい食事を提供したいですね」と、心強い言葉が返ってきました。

PROFILE

竹山（たけやま） 由規（ゆうき）

昭和53年7月6日生まれ。平成26年1月から長崎北徳洲会病院に勤務。

次号の「かたらんね」では、竹山さんが教える「和食のコツ」についてを掲載します。どうぞ、お楽しみに！

クリスマス
サンタクロースやトナカイに扮して患者さんを労う

12月24日のクリスマスイブ。入院している患者さまにも、クリスマスを楽しんでもらおうと、看護師たちがサンタクロースやトナカイに大変身。突然病棟に流れ出したクリスマスソングに合わせてサンタクロースたちが登場。「早く良くなってね」の言葉と一緒にミニクリスマスツリーのプレゼントを手渡し、患者さまに喜ばれました。

近くで見つけた洒落たお店、美味しいお店
第5回　お酒とお米の西岡屋

長与町の高田郷にある「お酒とお米の西岡屋」。こちらに「お米のマイスター」がおられるということで、お話を伺ってきました。

こちらのお店の売りは、お米が自家製米であるということと、精米作業から自分たちで行うことで、お米の新鮮さを保ち、美味しいお米が提供できるということです。

また、注文に合わせたお米を用意できるということも、こちらのお店の特長。食べたい、あるいは、あの人に食べてもらいたい、といったお米があれば、お店に要望すると、用意していただけます。

とにかく良いお米が食べたい、という人には「くらずみ米」がおすすめ。これは、その時の美味しい産地のお米を厳選して封詰めしているので、誰でも安心して食べることができます。

そして、このお店のもう一つの主力商品が「お酒」。店内には全国の厳選されたお酒が陳列され、どれを購入するか迷うほど。お酒のおすすめは、西岡屋オリジナルの日本酒、その名も「西岡屋」。

灯油の配達も行う、こちらのお店の店内には、このほか食料品やちょっとしたお菓子もあり、子供たちも立ち寄る楽しい場所。「これからも、堅実に、地域に根差したお店でありたい」と西岡さんは語りました。個人から業者まで、柔軟に対応していただけますので、お気軽にお立ち寄りください。

お酒とお米の西岡屋
西彼杵郡長与町高田郷57-1
TEL.095-856-1577
営業時間／8:00～19:30
店休／日曜日

私たちが目指すものは、
地域貢献と全国大会優勝
長崎北徳洲会病院ソフトボール部

こんにちは!!　長崎北徳洲会病院ソフトボール部、部長の脇浜です。今回は私たちソフトボール部の紹介をします！

部員数は、昨年9月の時点で21名（男性14名　女性7名）です。リハビリ科もいれば、看護師、放射線科技師、事務員、薬剤師など様々な職種のスタッフが所属しています。年齢も様々で、20代～50代と幅広く、今年度の新入職員もなんと3名が入部しています。

甲子園を目指していた高校球児から未経験者までいて、皆で楽しく練習しています。そんな私も未経験者です。月に2、3回、仕事が終わってから練習しています。

私たち、ソフトボール部の全体図は見えてきましたか？　そこで次に、以前参加した全国徳洲会ソフトボール大会について紹介したいと思います。

毎年、全国の徳洲会グループでソフトボール大会が開催されています。その時に出場した大会の舞台は真夏の沖縄。試合は3チームずつグループに分かれて総当たり戦。その後、各グループを勝ち抜いたチームによる決勝トーナメントという流れです。

初戦の相手は、前回大会優勝の沖縄中部徳洲会病院。地元の声援もあり、手強い相手です。試合は、相手の流れで進み0－2で迎えた私の人生初めてのバッターボックス。がむしゃらに振ったバットにボールが当たり、打球はライト方向へ。私の人生初打席は2ランホームランでした。その後、私たちは逆転に成功し、見事、前回大会優勝チームに勝つことができました。

続く相手は、羽生徳洲会病院。相手の投手は女性。それも、変化球を巧みに使いこなす、技巧派投手。巧みな変化をするボールに、なんとか私たちも食らいつきましたが、惜敗してしまいました。

しかし、得失点差により私たちは、決勝トーナメントへ進出することが出来たのです。ところが、本当の敵は、中部・羽生徳洲会病院ではありませんでした。刻一刻と迫る、飛行機の時間。私たちは、決勝トーナメントへ出場することなく、家路につきました。

後から聞いた話ですが、優勝は中部徳洲会病院だったようです。

1泊2日という、短い期間での全国大会への参加。その短い期間でも、私たちは、密度の濃い経験をすることができたのです。

私たちが目指すものは、地域貢献。そして、全国大会優勝。

いくつになっても白球を追いかける私たちの姿を温かく見守ってください。